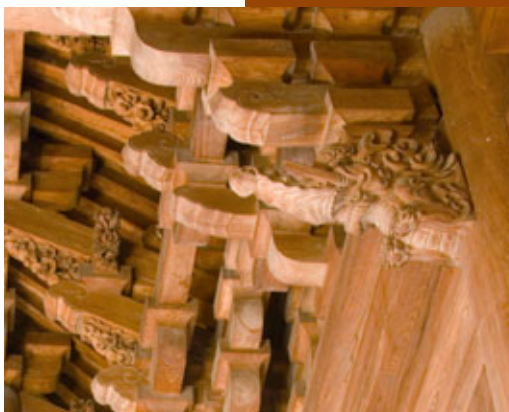
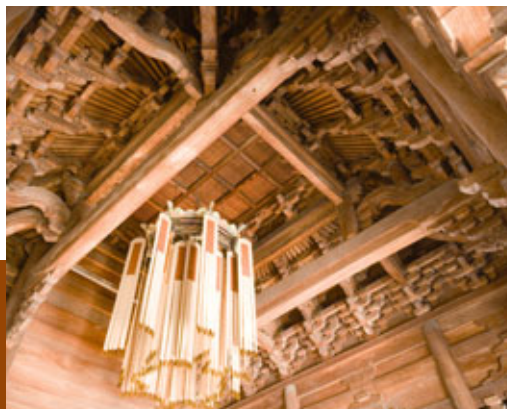


## DETAIL OF TAKAOKA

ディテールに宿るもの

虹を架け、天を支え、  
雲は自在に浮かび上がる。

● 国宝 高岡山瑞龍寺



国宝瑞龍寺仏殿。その中に足を踏み入れると、荘厳にして華麗な空間に圧倒される。

ここは、高岡を開いた加賀藩二代藩主前田利長公の菩提寺。三代利常公が、藩の御大工頭、山上善右衛門嘉廣に命じて建立したもので、江戸初期の代表的な禅宗寺院建築である。

仏殿は、独創的な内部架構を持つ。4本の柱を建てる代わりに、前列2本を抜いて後列2本を後退させ、そこから正面に大きな2本の梁を渡している。その梁は、大虹梁だいこうりょうという。虹梁とは、柱と柱に架け渡した虹のように反った梁のことである。

大虹梁の下には、獺鼻たばな(象の鼻を持つ想像上の動物の彫刻)が付けられ、その他にも雲や牡丹の精巧な透かし彫りが施されている。見えにくい所に加えられた細やかな装飾は、大工の誇りと自信を感じさせる。

高岡は、もうすぐ開町400年。遙かな時間を超えて、高岡に込めた熱く深い思いを、この無言の空間は語りかけている。

● 高岡市関本町35 JR高岡駅南口から徒歩10分